



ゴルバチョフ書記長に
 那須良輔・画

湯前まんが美術館・収蔵



- 利用のご案内
- 開館時間 午前9時から午後5時まで
 - 休館日 毎週月曜(当日が祝日の場合はその翌日) 年末年始(原則として12月29日~1月3日)
 - 観覧料 一般(高校生以上)300円 団体は1人につき210円 小・中学生 100円 団体は1人につき70円 ※団体は20人以上
 - 館の使用料(特別展示室) 1日一町内者3000円 町外者5000円
 - 交通機関のご案内
 - JR熊本駅から肥薩線JR人吉駅下車、くまがわ鉄道に乗り換え湯前駅下車、徒歩1分
 - 九州縦貫自動車道人吉I.C.を下りて国道219号線に入り宮崎県西部市方面に向かって約45分
 - 電話 0966-43-3788

この作品は一九八五年田中角栄のゴルバチョフ大統領が新書記長に就任した時のことを、那須良輔氏が描いたものです。那須氏は、球磨郡湯前町出身の漫画家で、太平洋美術学校在学中アルバイトで始めた漫画が当たり、「のんきな殿様」、「わが輩はノミである」等で売れっ子漫画家となりました。戦後は、「週刊東洋経済」や「毎日新聞」紙上を中心に政治漫画を描き続け、近藤日出造、横山泰三と並んで「政治漫画の三羽ガラス」と称され、国際的にも高い評価を受けました。

ご覧の通り、政治家の特徴を見事に掴んで、それぞれの時代の政治や社会事象を鋭い批評と庶民感覚で描き、国民の喝采を受けました。氏はまた釣りや自然を題材にしたラッセイもたくさん執筆しており、広く文化人として知られていますが、平成元年に亡くなりました。

湯前町では那須氏の業績を讃え、くまもとアートポリス参加による「湯前まんが美術館」を建設し、政治漫画・水墨画・似顔絵など約六千五百点を入れ替えながら展示しています。また、地域文化の核となるような企画も行っています。

湯前町企画振興課商工観光係長/石原邦昭

時の政治をユーモラスかつ痛烈に風刺

伝統芸能は民族の誇り。
 競いあい讃えあい、友情はより深く。



熊本県と中国広西壮族自治区との友好提携10周年を記念し、広西少数民族歌舞団が熊本にやってきました。広西は中国南部のベトナムと国境を接したところに位置し、多くの少数民族が独自の文化と伝統を守って暮らしています。今回の熊本公演は、10月24日から28日にかけて荒尾市、八代市、熊本市の3カ所で開催され、美しい衣装に彩られた可憐な民族舞踊や歌の数々、また、珍しい中国の楽器を使った演奏など盛り沢山の芸能が披露され、各会場とも言葉の壁を越えて友情と感動の輪に包まれました。

